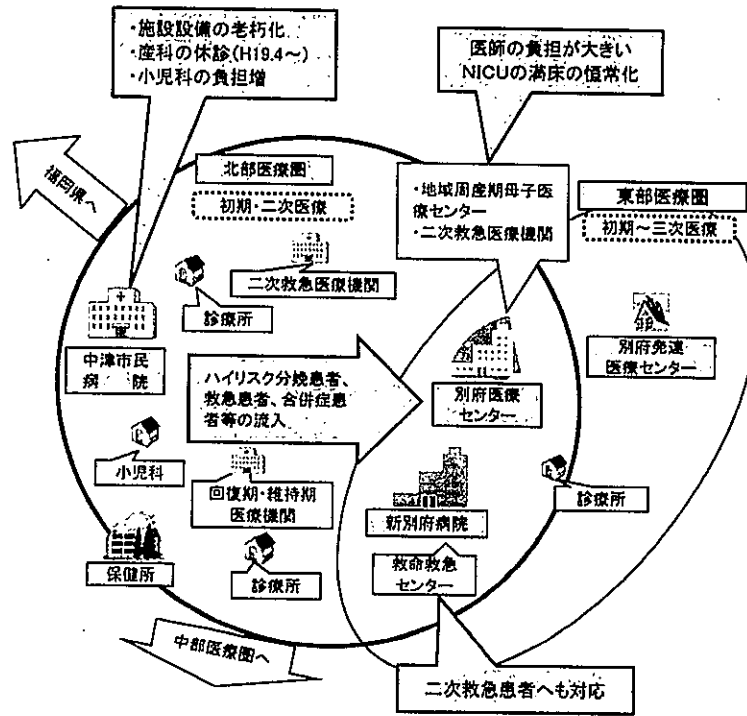
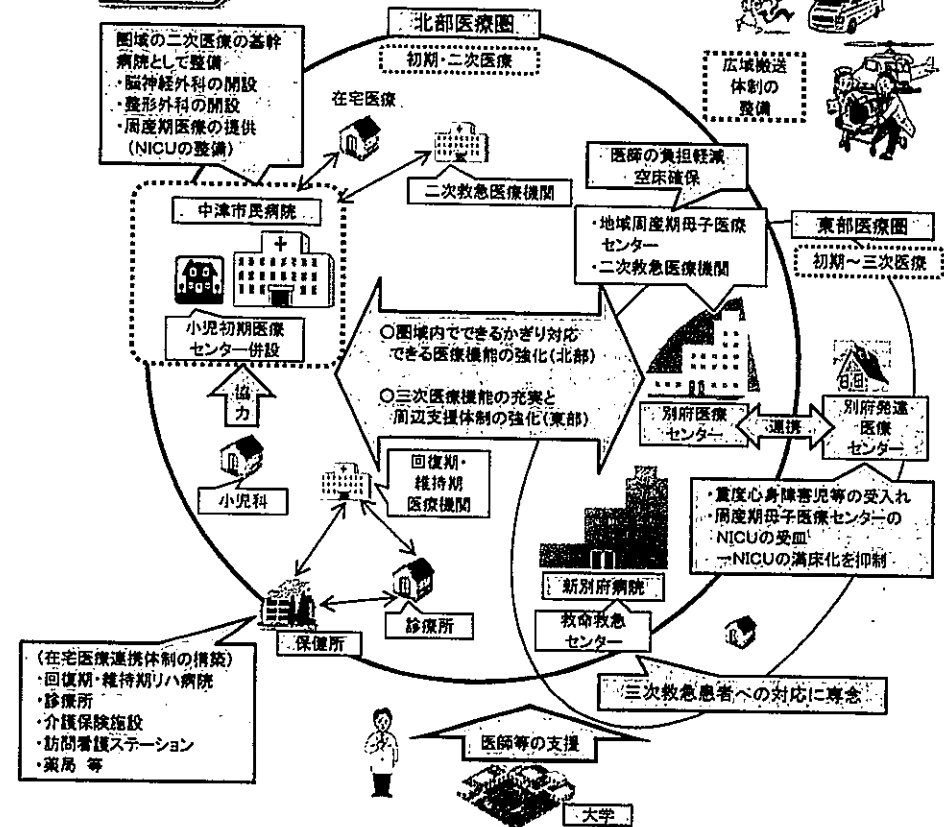


# 北部医療圏と東部医療圏の三次医療機能を有する医療機関等との連携による地域医療再生計画

## 現状



## 実施後



## 課題

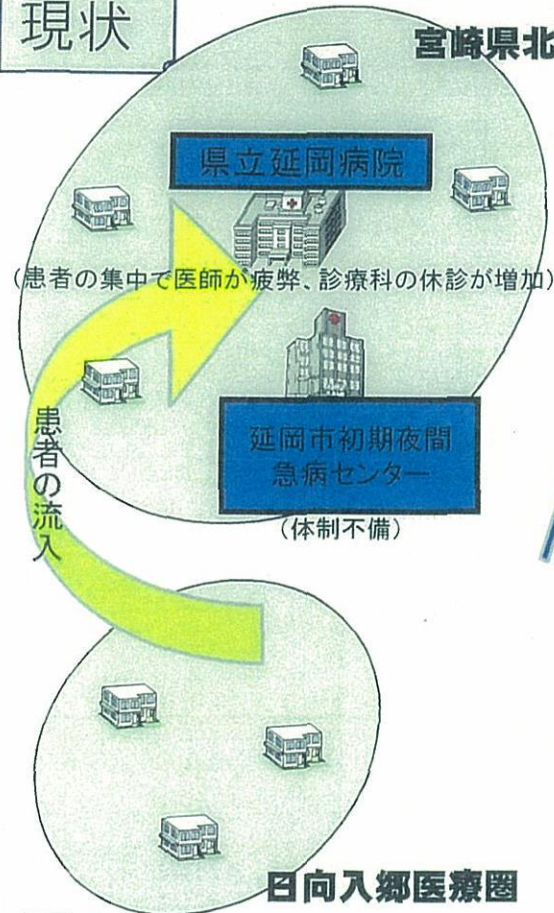
- 北部医療圏では、救急医療に不可欠な内科・外科・小児科などだけでなく、脳神経外科・整形外科医・ハイリスク分娩などを含めて、総合的に対応できる医療機関が整備されていない。
- 北部医療圏では、小児救急医療支援事業を実施している中津市民病院の小児科医の負担が大きくなっている。
- 東部医療圏の三次機能(救急、小児救急、周産期)を有する医療機関の医師の負担が大きくなっている。
- 看護師の都市部への流失傾向が顕著であり、地域の中核病院でも看護師の確保が困難となっている。
- 地域における医師確保には時間を要し、かつ、医療格差をすぐに大きく変えることは困難であるため、施設間での機能分担と連携強化が必要である。

## 方策

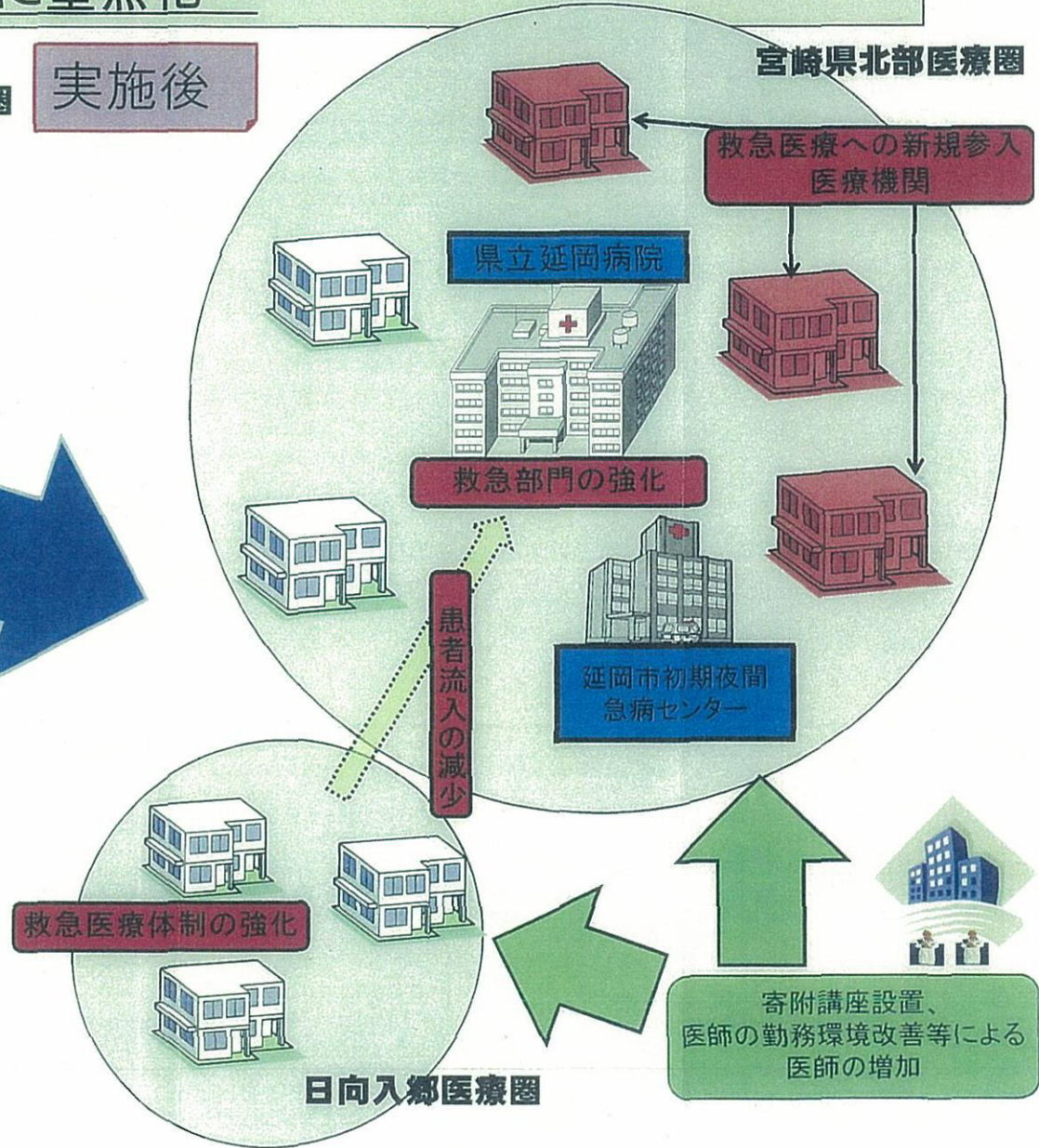
- 医師修学資金の貸与対象者の増員
- 大分大学医学部と連携した地域医療を担う医師の育成及び確保の仕組みづくり(地域医療研究研修センター(仮称)の設置、後期研修医への研修資金貸与)
- 看護師の確保、離職防止及び復職支援対策
- 上記医師確保対策などとあわせて北部医療圏の中核病院である中津市民病院の救急・小児救急の機能強化と周産期医療提供体制の確保、東部医療圏の三次医療機能を有する医療機関の周産期医療機能の強化
- ドクターヘリやドクターカーなど広域搬送体制の整備の検討
- 医療情報ネットワークシステム(画像診断システム)の構築
- NICUの後方病床の確保及び在宅医療提供体制の構築に向けた取組

# 宮崎県地域医療再生計画<宮崎県北部医療圏(一部、日向入郷医療圏を含む)> ～医師不足と救急医療に重点化～

現状



実施後

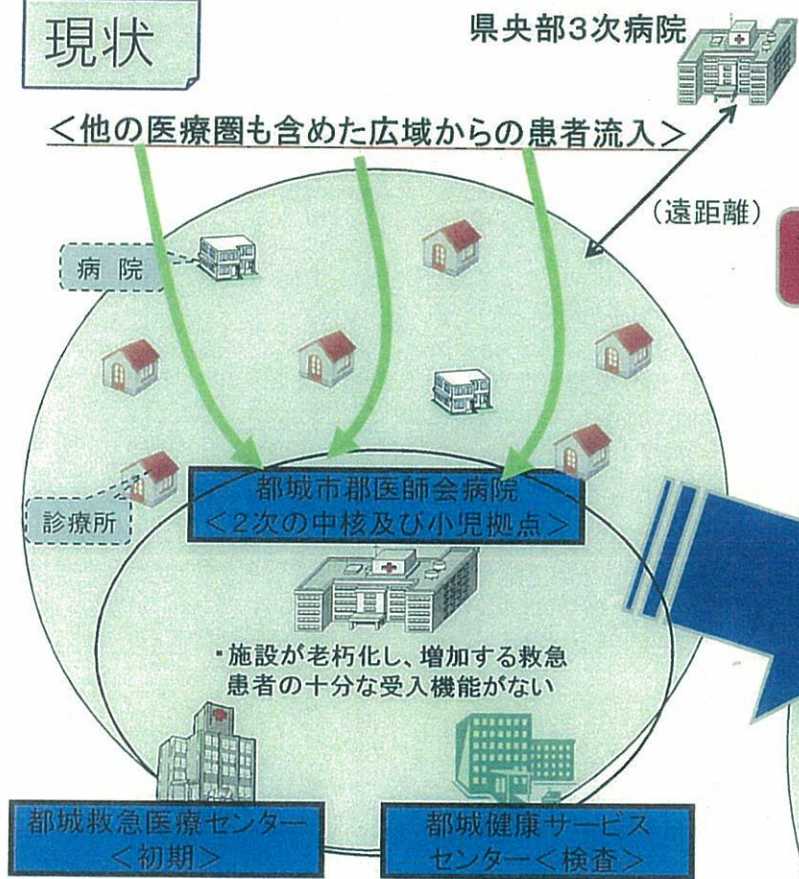


課題

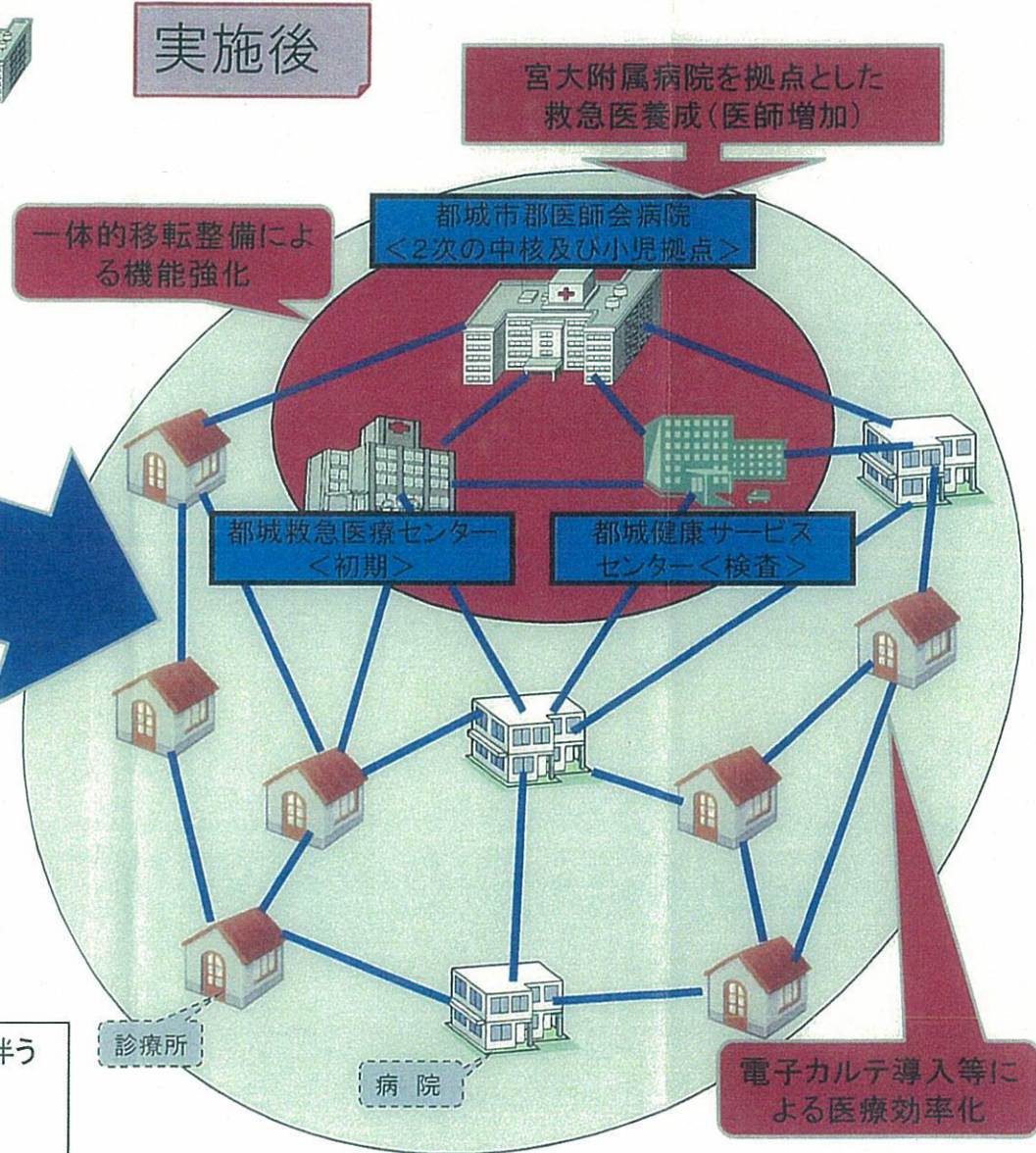
- 医師不足が顕著
- 初期・2次の体制が脆弱  
(県立延岡病院への患者集中)
- 県立延岡病院の体制の弱体化

# 宮崎県地域医療再生計画 <都城北諸県医療圏(一部、西諸医療圏を含む)> ~救急医療体制の強化~

現状



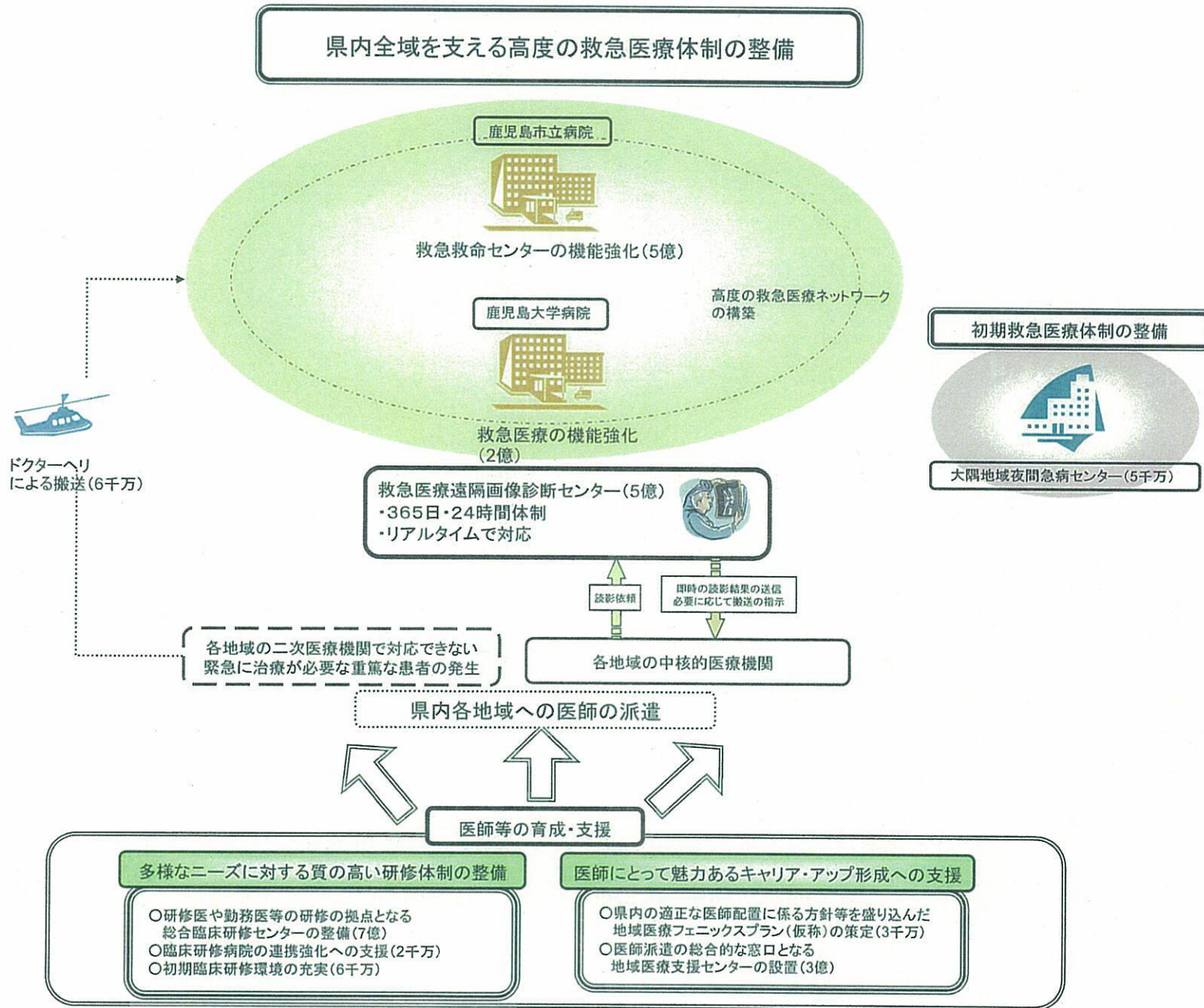
実施後



課題

- 2次の中核である都城市郡医師会病院の機能低下に伴う圏域の2次救急医療体制の弱体化 (本圏域は他の医療圏からの患者流入が多い圏域)

# 鹿児島地域医療再生計画イメージ



# 奄美地域医療再生計画イメージ

